

(臨床研究に関するお知らせ)

社会医療法人愛仁会高槻病院整形外科で、人工股関節全置換術を受けられた患者さんへ

社会医療法人愛仁会高槻病院整形外科では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、当院倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われた方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

人工股関節置換術後におけるインプラント周囲の骨密度に関する研究

2. 研究責任者

社会医療法人愛仁会高槻病院整形外科 部長 藤代 高明

3. 研究の目的

人工股関節全置換術では、大腿骨側はステムと呼ばれるインプラントを大腿骨髄腔内に設置する形状となっています。このステムを介して大腿骨に伝達される荷重による応力が、どの部分に、どのように伝達されるかによりステム周囲の骨に変化を生じます。この骨の反応はWolff応変則に従い、骨組織は加えられた力や荷重に応じてリモデリングします。応力遮蔽による骨萎縮はその一つであり、長期経過中に観察される問題点でもあります。

現在、様々な形のステムが臨床応用されており、その形に応じた力学的環境の変化を生じます。当施設では術後にステム周囲の骨塩量の変化を追跡し、ステムの大腿骨に対する力学的影響や長期予後を推測するデータを報告していくことにより、今後の整形外科の発展に寄与したいと考えております。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

変形性股関節症の患者さんで、平成27年4月1日から平成33年3月31日までの期間中に、人工股関節全置換術の治療を受けた方

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、カルテ情報、手術前および手術後の股関節の撮影写真に関する情報です。

(3) 方法

対象となる患者さんの手術後のインプラント周囲の骨密度を追跡し、各インプラント間での違いを調査します。また、リハビリテーションでの記録の比較を行い、骨密度の違いによってリハビリテーションの成績に差を生じるか調査します。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用さ

れることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

〒569-1192 大阪府高槻市古曽部町 1-3-13

社会医療法人愛仁会高槻病院整形外科 担当医師 藤代 高明

TEL : 072-681-3801 FAX : 072-682-3834

E-mail : taka2446@yg8.so-net.ne.jp